

平成29年度
アドミッション・オフィス入試
(AO入試)

学 生 募 集 要 項

< 英語資格・簿記資格・課題探究 >

経 済 学 部

- 出願期間 平成28年8月17日(水)～8月23日(火)
- 試験期日(第2次選考) 平成28年9月23日(金)
- 合格者発表 平成28年10月14日(金)

平成28年6月



変化する、そして進化する。

大分大学
OITA UNIVERSITY

目 次

	ページ
経済学部における事業共創学科（仮称）の設置について	1
大分大学アドミッション・ポリシー	3
経済学部（改組予定）（アドミッション・ポリシー）	4
1. 募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 選抜方法等	8
4. 出願期間	9
5. 出願に必要な書類等	9
6. 事前の説明会・相談会	10
7. 個人情報の取扱い	11
8. 障がいのある者等の事前相談	11
9. 熊本地震により被災した者、または熊本地震により転学等をした者の 事前相談	11
10. 東日本大震災により被災した者、または東日本大震災や 福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談	11
11. 検査場	12
12. 不正行為の取扱い	13
13. 合格者発表	13
14. 入学手続	13
15. 推薦入試及び一般入試への出願	14
16. 入学試験個人成績の開示	14
17. 高大接続学習課題	15
18. その他	15
19. 大分大学学生寮のご案内（予告）	16
○アドミッション・オフィス入試出願書類等	17

経済学部における事業共創学科（仮称）の設置について

大分大学では平成29年4月に、下記のとおり経済学部における事業共創学科（仮称）の設置（以下改組）を予定しており、現在、大学設置等の認可申請中です。この改組計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知（平成28年8月末予定）によって確定するものであり、内容の変更があり得ます。

〈入学定員〉

改組前（平成28年度）	改組後（平成29年度）
経済学部＜305名＞	経済学部＜290名＞
経済学科＜130名＞	経済学科＜90名＞
経営システム学科＜130名＞	経営システム学科＜80名＞
地域システム学科＜45名＞	地域システム学科＜80名＞
	事業共創学科＜40名＞

【注】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

〈募集人員〉

改組前（平成28年度）	改組後（平成29年度）
経済学部＜305名＞	経済学部＜290名＞
一般入試前期日程＜120名＞	一般入試前期日程＜120名＞
一般入試後期日程＜90名＞	一般入試後期日程＜80名＞
推薦入試（普通推薦）＜50名＞	推薦入試（普通推薦）＜45名＞
推薦入試（商業推薦）＜25名＞	推薦入試（商業推薦）＜20名＞
A O入試（英語資格）＜5名＞	A O入試（英語資格）＜5名＞
A O入試（簿記資格）＜15名＞	A O入試（簿記資格）＜15名＞
帰国子女入試＜若干名＞	A O入試（課題探究）＜5名＞
社会人入試＜若干名＞	帰国子女入試＜若干名＞
私費外国人留学生入試＜若干名＞	社会人入試＜若干名＞
	私費外国人留学生入試＜若干名＞

（1）改組・学科新設の理念・目的

今日、わが国では、産業競争力の低下、少子高齢化等の諸課題を克服するために「グローバルなイノベーション競争を勝ち抜くための教育、人材育成システム」が課題とされています（産業競争力懇談会提言2012年）。こうした企業経営上の革新（イノベーション）は中央大手企業だけではなく地方経済でも求められています。また、イノベーションを企業間、行政やNPO等地域社会とともに実現すること、あるいはその手法を公的サービスにも活用して社会問題を解決する取組みも求められています（骨太の方針2015）。このように、商品・サービスの開発など、イノベーション＝新たな価値をつくり出す事業は、社会の多面的な構成員相互のつながりと広がり背景に希求されており、これを担いうる人材の育成が急務となっています。

こうした状況を踏まえて、本学部は、企業経営での新商品・サービス開発や、地域活性化のための街づくり等、事業創造において、これに関する基礎的な知見を備え、企業間、企業と行政・NPO・市民間等、

組織の中でこれに携わる人材の育成を行う学科「事業共創学科（仮称）」を設置します。

学科新設と同時に、経済、経営システム、地域システム3学科においても学生定員の変更等学部改組に取り組み、これまでの人材育成に関わる実績を踏まえ、地域社会からの人材育成の社会的要請にも応えられるよう、新たな地域課題教育プログラムなど学部全体の教育改善向上を図ります。

（２）「事業共創学科（仮称）」の概要

募集人員：40名

入 試：学部を単位として行います。各学科への所属は入学後に決定します。

学 位：学士（経済学）

（３）「事業共創学科（仮称）」で育成する人材

本学科では、次のような力や知見を備えた人材を育成します。

新商品・サービス開発、公的サービスにおける事業創造による新たな価値創造（イノベーション）が求められる社会経済状況を理解し、それに関する基礎的な知見を備え、組織の中でイノベーション強化に携わる人材を育成します。

☆就職先・職種

- ・企業内・企業間起業家（製品・サービス開発、マーケティング・企画、知的財産部門担当者）
- ・イノベーションを促進する過程で生じる諸問題の相談に対応できる事業コンサルタントやシンクタンク研究員
- ・サービス・イノベーション（サービス業における生産性の向上やイノベーション創出など）を必要とする観光産業や自治体の職員・NPO・NGO職員
- ・自治体の政策立案・企画担当職員
- ・行政機関のボランティア支援部門、産業地域振興部門担当職員
- ・イノベーションを主体的に企画・立案できる起業家
- ・組織改革とネットワークの構築によるイノベーションが必要な6次産業従業者

（４）「事業共創学科（仮称）」における教育課程の特徴

新商品・サービス開発といった企業経営上の革新について、また、NPO創設による地域活性化等社会課題への民間手法の活用について、地域現場での体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、基礎から応用・実践まで段階的に学びます。

- ・企業経営上の革新を主な対象とする科目：
イノベーションマネジメント入門、ベンチャー起業論、製品開発論など
- ・イノベーションとこれを生む経済との関連を分析する科目：
広告の経済分析、都市イノベーション論、組織の経済学など
- ・地域活性化等企業経営の手法を活用した社会課題解決に係わる科目：
社会調査法、ソーシャル・イノベーション論、NPO/NGO論など

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

経済学部（改組予定）アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学者は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。特に、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、事業コンサルタントやシンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設、NPO・NGO、ボランティア組織、地場産品を扱う6次産業などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の四つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動が生み出す経済社会の諸現象を分析できる経済学的な考え方を学びます。これにより、グローバル化された経済社会で活躍できる人材を育成します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる経営上の問題に対しての経営学・商学・会計学の諸理論を基礎・中級・応用と段階的に幅広く学び、かつ分析・解明する方法や技術を会得したうえで、それらを実社会で有効に活用し効果的な解決策を提案できる実践力を養います。

〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域経済、法律、行政、福祉など、住民の生活領域を学際的・総合的に学ぶとともに、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。これにより、地域の経済社会や行政・法制度に関わる知識を十分に備え、グローバルな諸問題を総合的に理解し、それらを活用して、地域社会の再生・活性化のために、ローカルな実践ができる人材を養成します。

〈事業共創学科（仮称）〉

事業共創学科では、商品・サービスの創造による企業経営上の革新や、行政やNPO等による社会事業創造に基づき、地域社会の課題を解決することを学びます。特に、イノベーション（新たな価値創造）が求められる社会経済状況を理解して、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、課題探究能力およびチームワークを構築・維持できるようなコミュニケーション力を備えた人材や組織の中でイノベーション強化に携わる人材を養成します。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習過程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度をみます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

1. 募集人員

学部	学 科	入学定員	募集人員
経済学部 (改組予定)	経 済 学 科	90人	英語資格 5人 簿記資格 15人 課題探究 5人 計25人
	経営システム学科	80人	
	地域システム学科	80人	
	事業共創学科(仮称)	40人	
	計	290人	

【注】所属学科は入学後に決定します。

2. 出願資格

【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】

次の（１）に該当する者で、かつ（２）の要件を満たし、入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者です。

- （１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成28年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、調査書の履修科目全体の評定平均値が**3.5以上**の者
 - （２）次のいずれかの資格を有する者
 - 英語資格：実用英語技能検定（英検）2級以上
 - TOEICスコア480点以上
 - GTEC for STUDENTSスコア580点以上又はGTEC CBTスコア850点以上
- 簿記資格：日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）2級以上

【課題探究型学習に基づく選抜制度】

次の（１）に該当する者で、かつ（２）の要件を満たし、入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者です。

- （１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成28年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、調査書の履修科目全体の評定平均値が**3.5以上**の者
- （２）次のいずれかの要件を満たす者
 - ①高等学校等の総合的な学習の時間（課題研究等を含む。）等での課題探究型学習の経験者
 - ②大学（本学または他大学）による高校生対象の課題探究型学習の経験者
 - ③課題探究型学習成果コンテストの経験者
 - ④上記①②③のほか、「高等学校等での課題探究型学習」の経験者

※ ③の成果コンテストの事例として、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」（日本政策金融公庫）、「NRI学生小論文コンテスト」（野村総合研究所）、「全国高等学校生徒商業研究発表大会」（全国商業高等学校協会）、「高校生なるほどアイデアコンテスト」（大分大学経済学部）などの各種団体や大学が主催するコンテストがあります。

3. 選抜方法等

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は2段階選抜とします。

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

(1) 第1次選考

自己推薦書及び調査書により選抜します。

自己推薦書及び調査書では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、取得資格に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉学意欲等についてみます。

※選考結果については、通知書を本人宛に平成28年9月9日（金）に発送します。その際、合格者には受験票を同封します。

※第1次選考の合格者数は、英語資格・簿記資格とも募集人員の3倍程度とします。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

試験日：平成28年9月23日（金）

検査項目	検査時間	集合時刻及び集合場所
小論文	10:00~12:00	午前9時30分に経済学部棟玄関前に集合
個人面接	13:00~17:00	

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。なお、英語資格の個人面接では英語での質疑応答、簿記資格の個人面接では簿記（日商簿記2級相当の内容）に関する質疑応答の時間があります。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、小論文は試験開始後20分、個人面接は受験者の1人目の試験が始まるまでです。

試験の配点は下記のとおりです。

小論文	個人面接
50点	50点

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

(1) 第1次選考

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物により選抜します。

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、課題探究型学習に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉学意欲等についてみます。

※選考結果については、通知書を本人宛に平成28年9月9日（金）に発送します。その際、合格者には受験票を同封します。

※第1次選考の合格者数は、募集人員の3倍程度とします。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

試験日：平成28年9月23日（金）

検査項目	検査時間	集合時刻及び集合場所
小論文	10:00~12:00	午前9時30分に経済学部棟玄関前に集合
個人面接	13:00~17:00	

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度をみます。

なお、個人面接では、出願時に提出した「課題探究型学習の成果について」（書式B）のみを用いて学習の内容を5分で発表してもらった後、その内容および提出書類も参考にして質疑応答を行います。

※面接室には資料等一切持ち込めません。面接室には受験者用に「課題探究型学習の成果について」（書式B）を配置します。

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、小論文は試験開始後20分、個人面接は受験者の1人目の試験が始まるまでです。

試験の配点は下記のとおりです。

小論文	個人面接
50点	50点

4. 出願期間

平成28年8月17日（水）～平成28年8月23日（火）17時まで（必着）

出願は郵送のみとします。その際は必ず、本要項に添付されている封筒を用い、速達書留で郵送してください。

ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、8月23日（火）に限り持参を認めます。

（受付時間は、9時から17時まで）

【注】出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

5. 出願に必要な書類等

（1）出願書類等

書類名	内容等
入学志願書票	本学部所定の用紙に必要事項を記入し、所定の箇所に写真（縦4 cm×横3 cm、上半身、無帽、正面向きで本人であると確認できるもの）を貼ってください。
調査書	文部科学省所定の様式で、出身高等学校長等が作成し厳封したもの（平成29年3月卒業見込者については3年1（前）学期末時点で作成したもの）。
自己推薦書	本学所定の用紙（全4枚）に志願者が自筆で作成してください。
出願資格に関わる提出物	<p>【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】 出願資格を証明できる書類のコピー（A4サイズ）を添付してください。</p> <p>【課題探究型学習に基づく選抜制度】 課題探究型学習の成果（例えば、レポート、作品、グループ発表のプレゼンテーション用スライド等）について以下の書式で提出してください。ただし、成果が複数ある場合は、最も代表的な成果を1つ選んで提出してください。</p> <p>（1）上記の成果について、本学部所定の書式「課題探究型学習に関する調査書」（書式A）に必要事項を記入し、学校長等が証明してください。</p> <p>（2）上記の成果について「課題探究型学習の成果について」（書式B）を提出してください。【注】</p>
住所シール	本要項に添付している住所シールの①～④すべてに、志願者の郵便番号・住所（合格通知等を受け取る場所）・氏名を記入してください。
受験票返信用封筒	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 362円分の切手を貼ってください。
入学検定料振替払込受付証明書等（17,000円）	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ① 金融機関（郵便局を含む）での振込 本学所定の振込用紙を用い、 <u>必ず窓口で振込手続を行ってください</u> （ATM不可）。

	<p>②コンビニエンスストアでの振込 本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp/) から振込専用ホームページ (上部メニュー→入試情報 → 入学検定料のコンビニ収納) へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。</p> <p>【振込専用URL】 https://www.oita-u.net/ 【携帯電話専用URL】 https://www.oita-u.net/mobile/</p> <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書 (大学提出用)」を、②の場合は「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票下の貼付欄にはがれないようのり付けしてください。</p> <p>※手数料は本人負担です。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。</p> <p>(ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合 (返還額: 17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合 (返還額: 17,000円) (ウ) 第1段階選抜で不合格となった場合 (返還額: 13,000円)</p> <p>※ (ア) 又は (イ) に該当する場合は、10ページ「(4) 入学検定料の返還請求」を参照してください。</p> <p>※ (ウ) に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p>
--	---



【注】書式Bは、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/gakubu/gakubu-AO.html>) よりダウンロード (Word) できます。

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (イ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- (ウ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (エ) 出願書類等は、受付後は返却できません。
- (オ) 改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合又は入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～④を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、「振替払込受付証明書 (大学提出用)」又は「収納証明書 (コンビニエンスストアによっては領収書)」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

- ・ 入学検定料返還請求願に記載する事項
 - ①氏名 (フリガナ)、②郵便番号及び住所、③連絡先電話番号、④返還請求理由
- ・ 請求期限: 平成28年9月30日 (金)
- ・ 請求先: 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

6. 事前の説明会・相談会

AO入試に関する事前の説明会・相談会を次のとおり開催します。

開催日時 平成28年7月16日 (土) 14時～15時
場所 本学経済学部203号教室

7. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学金・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した場合には、その選考資料として利用します。

8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年7月22日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

本要項に添付している配慮申請書（診断書等必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

9. 熊本地震により被災した者、または熊本地震により転学等をした者の事前相談

熊本地震により被災した入学志願者、または熊本地震により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年7月22日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、熊本地震への対応に関する情報については、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp>）に詳細を掲載しています。

10. 東日本大震災により被災した者、または東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年7月22日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

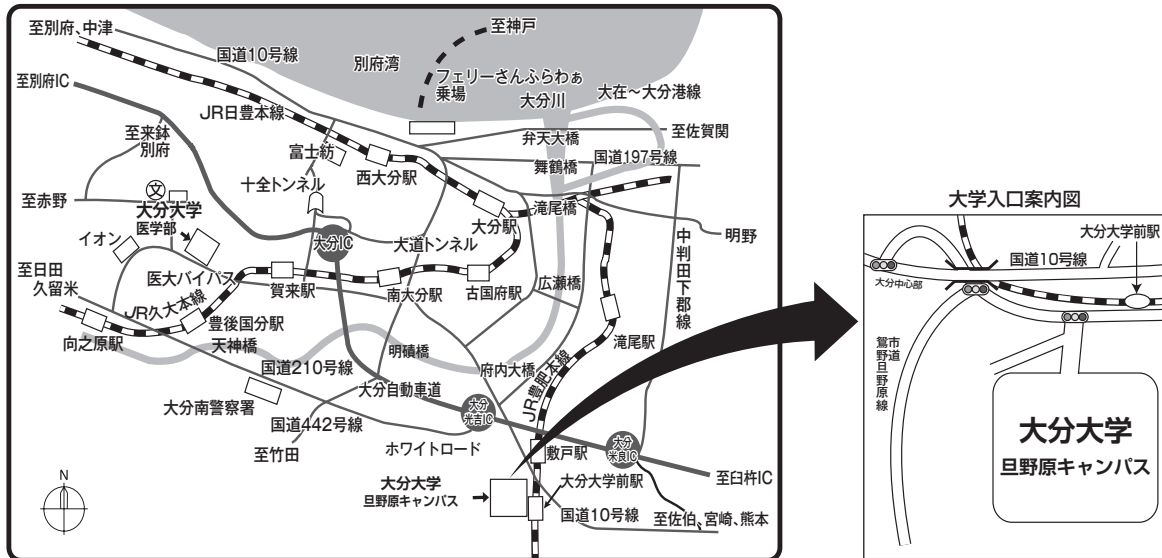
なお、東日本大震災への対応に関する情報については、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp>）に詳細を掲載しています。

11. 検査場

・大分大学^{だんのほる}旦野原キャンパス（大分市大字旦野原700番地）

※検査当日、自動車等で来学する場合は係員の指示に従ってください。

大分大学^{だんのほる}旦野原キャンパス位置図



交通アクセス

〈JR利用〉

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分）、徒歩約10分

〈バス利用〉

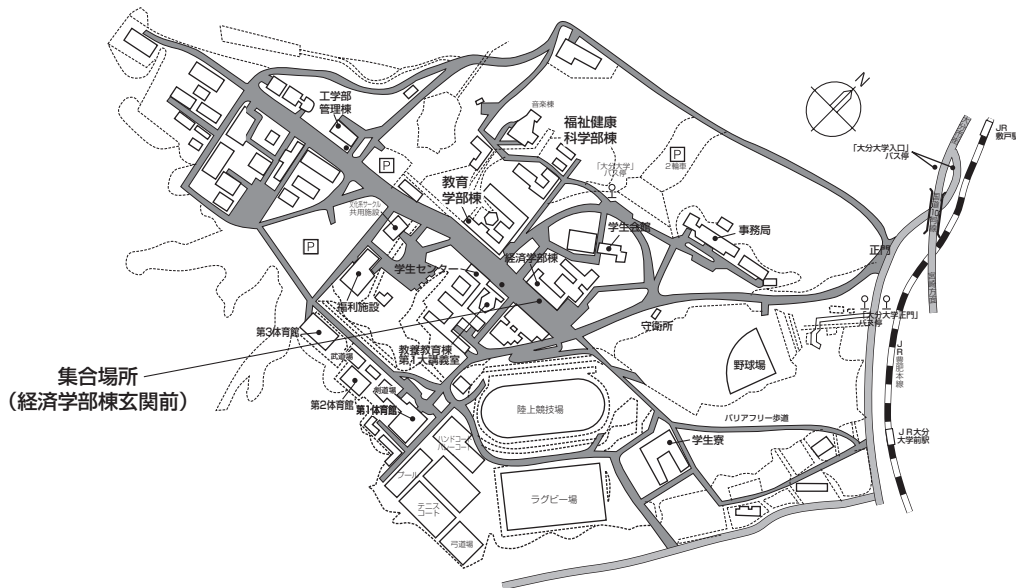
大分バス 中央通り〔トキハ前1番のりば〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前3番又は4番のりば〕から

○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、徒歩約10分

（詳細は時刻表で確認してください。）

大分大学^{だんのほる}旦野原キャンパス案内図



12. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
- (ア) 入学志願書、受験票、写真票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (エ) 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) (1) 以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

13. 合格者発表

合格者発表日時	平成28年10月14日（金） 10時
---------	--------------------

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

14. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

平成28年10月21日（金）～27日（木）17時まで（必着）

入学手続は**郵送のみ**とします。（受付時間は、9時から17時まで）

アドミッション・オフィス入試合格者は出願資格にて「入学することを確約できる者」となっています。

ただし、特別の事情により本学に入學できなくなった場合は、すみやかに「アドミッション・オフィス入試入學辞退願」（A4サイズ、様式任意）を大分大学長宛に提出してください。10月27日（木）までに許可された場合は入學を辞退することができます。

入學辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学（〔注〕独自日程で入學者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）・学部の入學許可は得られません。

10月27日（木）17時までに入學手続を完了しないときは、本学のアドミッション・オフィス入試合格者としての権利を消失します。

〔注〕公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

（2）入學料及び授業料

入學料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

【注1】 入學料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨學融資の制度があります。申請手続は、入學料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については、學生支援課奨學支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。

【注2】 入學料・授業料は改定されることがあります。

なお、在學中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】 既納の入學料は返還できません。

【注4】 入學料免除・徴収猶予を申請される方は、入學料を払い込まずに申請書類を提出してください。ただし、入學手続完了後に入學を辞退した場合は、直ちに入學料を納付しなければなりません。

15. 推薦入試及び一般入試への出願

アドミッション・オフィス入試志願者が不合格となった場合は、推薦入試及び一般入試に出願することができます。

16. 入學試験個人成績の開示

本学においては、大分大学アドミッション・オフィス入試個人成績を受験者本人に限って開示します。開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成29年5月1日（月）～5月31日（水）17時まで（必着）

※土日及び祝日は除きます。

申込者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

申込方法：次の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

①入學試験個人成績開示申請書（本学入試課に直接来學するか、大分大学ホームページから印刷して入手してください。）

②アドミッション・オフィス入試の受験票のコピー（第1次選考不合格者は不要）

③写真付きの身分証明書のコピー

④返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、392円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日通知します。

開示内容：達成度をランク区分したものを開示します。

17. 高大接続学習課題

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。

この学習課題は、高校段階の学習履歴を基に、大学入学後の学習をスムーズに開始できることを目的として、合格者が意欲的に取り組むことを課せられたプログラムです。これまでの学習課題の実績については以下のとおりです。

英語資格入学者の課題

科目等	課 題
英語	①「音読筆写・速写ノート」の提出
	②TOEICの受験
	③TOEICのスコアの提出
数学	①解答を書き込んだ問題集の提出（入学後に確認試験あり）
国語表現	①解答を書き込んだ「語彙・読解力検定」公式テキストの提出
	②「誤答・練習ノート」の提出
	③「語彙・読解力検定」受験
eラーニング	①インターネットを使用した入学前学習システムの課題

簿記資格入学者の課題

科目等	課 題
英語	①英検の受験
	②英検の成績表の提出
数学	①解答を書き込んだ問題集の提出（入学後に確認試験あり）
国語表現	①解答を書き込んだ「語彙・読解力検定」公式テキストの提出
	②「誤答・練習ノート」の提出
	③「語彙・読解力検定」受験
簿記	①問題集の解答用紙の提出
eラーニング	①インターネットを使用した入学前学習システムの課題

※ 課題探究入学者の課題については、英語・簿記資格入学者と同様に高等学校段階の学習履歴に対応した課題を設定します。

18. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等を実施しません。

19. 大分大学学生寮のご案内（予告）

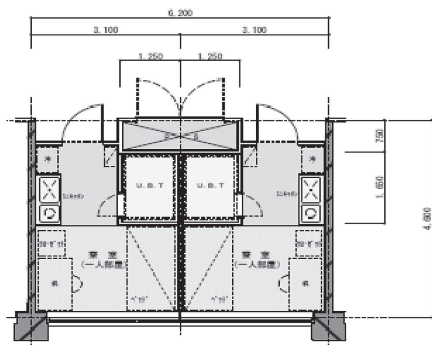
前期日程・後期日程及びAO（医学），特別入試等を受験の方は，入学試験前のお申し込みとなりますのでご注意ください。
予告内容は変更になる場合があります。正式には「学生寮入寮者募集要項」（平成28年12月上旬公表）でご確認ください。

学生の居住施設として，且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

医学部のある扶間キャンパスまでは，約10kmの距離ですが，バスや電車利用の場合，乗り継ぎのため90分程度を要します。

入寮者の選考は，経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

<学生寮の概要>



（上図は2部屋を示します。）

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
男子・女子・留学生	290名	290室	1名	鉄筋5階建

（身体等に障がいのある学生専用の居室，男女各1室を含む。）

■男女混住タイプ（男子・女子・留学生ゾーンによるエリア区分）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし），机・椅子，クローゼット，エアコン，UTB（ユニットバス・トイレ），ミニキッチン（IH），インターネット配線・TV配線付

<必要経費>

寄宿料	維持管理費 （共益費）	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円/月	2,000円/月	2,000円/月	40,000円/入居時

・光熱水費（電気・水道）は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

<募集人員等>

■募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）

■入寮許可：2年間（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

<選考区分等>

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	AO入試・編入学試験・社会人入試・推薦入試・特別入試・一般入試（前期日程）の合格者	一般入試（後期日程）の合格者
申込期間	平成29年1月23日～2月7日	
結果通知	平成29年3月10日	平成29年3月24日

■試験種別によっては，入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については，選考Ⅱにより選考します。

<入寮者募集要項の入手方法>（募集要項公表：平成28年12月上旬）

冊子版をご希望の方

請求先 大分大学学生支援課 〒870-1192 大分市大字且野原700番地（TEL097-554-7443）

請求方法 担当課窓口でのお受取り又は郵便での請求ができます。

返信用封筒（角形2号，郵便番号，住所及び氏名を明記し，140円切手を貼付したもの）を同封の上，

請求する封筒の表に「入寮者募集要項請求」と朱書してください。

デジタル版をご希望の方

大分大学公式ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート）

経済学部アドミッション・オフィス入試
出願書類等

◎「入学志願書」記入上の注意

1. 入学志願書等は、この学生募集要項に折り込んであるので、丁寧に取り外して使用してください。
2. 入学志願書、受験票・入学検定料振替払込受付証明書等貼付欄は切り離さないでください。
3. 入学志願書の記入にあたっては、下表の注意事項に従い、黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入し、該当語句は○で囲んでください。
4. 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正してください。訂正印は不要です。

注意事項

「氏名」欄	氏名を自署し、性別は○で囲んでください。						
「ローマ字表記(英語資格のみ)」欄	<p>英語資格者のみ、氏名のローマ字表記を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">【記入例】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">フリガナ</td> <td style="text-align: center;">エンドウ シュウイチ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">氏名</td> <td style="text-align: center;">遠藤 修一 男 女</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ローマ字表記(英語資格のみ)</td> <td style="text-align: center;">ENDO SHUICHI</td> </tr> </table> <p>※ローマ字表記はヘボン式で記入してください。</p>	フリガナ	エンドウ シュウイチ	氏名	遠藤 修一 男 女	ローマ字表記(英語資格のみ)	ENDO SHUICHI
フリガナ	エンドウ シュウイチ						
氏名	遠藤 修一 男 女						
ローマ字表記(英語資格のみ)	ENDO SHUICHI						
「現住所」欄	略さず正確に記入し、下宿、借間等をしている者は、○○様方と記入してください。						
「本人不在時の連絡先」欄	本人不在の際に連絡の取れる方の電話番号・氏名を記入してください。						
「出願要件」欄	<p>出願する資格（1つのみ）の□にレ点を付けてください。</p> <p>【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】 級またはスコアを記入してください。また、<u>証明書類のコピー（A4サイズ）を添付してください。</u></p> <p>【課題探究型学習に基づく選抜制度】 ①～④の該当する□にレ点を付けてください。</p>						
「出身高等学校等(出願資格)」欄	所在地は、出身高等学校等所在地の都道府県名を記入し、該当文字を○で囲んでください。高等学校等名は出身高等学校等の設置者別に該当文字を○で囲み、高等学校等名を記入してください。また、卒業見込等の年月を記入し、該当文字を○で囲んでください。						

入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんの はる 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課
T E L 097-554-7471
F A X 097-554-7472
URL <http://www.oita-u.ac.jp/>